

ガザ 戦闘再開

休止延長合意できず

イスラエル軍は1日、パレスチナ自治区ガザ地区全土でイスラム組織ハマスとの戦闘を再開した。両者はカタール政府などの仲介による合意に基づき、1日午前7時から午後2時

まで計7日間、戦闘を一時休止し、人賣りの交換を続けたが、さらなる延長に合意できなかつた。

ハマスとの戦闘を再開した。両者はカタール政府などの仲介による合意に基づき、1日午前7時から午後2時

まることが懸念される。▼3面II欄える市民、11面II広がる失竊

イスラエル軍は午前8時に、ガザからの発射体を迎撃したと発表。休止期限の午前7時すぎ、SNSのテレグラム上に

パレスチナ自治区ガザ地区ラファで1日、イスラエル軍の爆撃が再開され、避難する人々IIAFP時事



声明を出し、「ハマスはイスラエル領に砲撃した。イスラエル軍はガザ地区のラファなどガザ全城

地区のテロ組織ハマスに對して戦闘を再開した」と宣言した。

ハマスも声明で「交渉を拒否し、戦闘を再開した責任は占領者(イスラエル)にある。犯罪的な侵略は失敗に終わると、徹底抗戦を宣言した。

カタールの衛星テレビ局アルジャジーラは、北部のガザ市周辺から黒煙が立ち上る映像を放送。イスラエル軍の攻撃は、ガザ北部のジャバリア難民キャンプや中部のヌセイラト難民キャンプ、南部のラファなどガザ全城

で起きていると報じた。AFP通信は、ガザ保健省の話として、戦闘開始後に少なくとも60人が死亡したと伝えた。北部からの避難民が集中する南部最大の都市ハンユニスでは、イスラエル軍が住民に戦闘開始を警告して、市外への退避を要求するビラをまいている。

戦闘休止はカタールや米国、エジプトなどの仲介による合意に基づき、24日朝から始まり、2度の延長を経て7日間続いた。ハマスは拘束する約240人の人賣りのうち、7日間で計105人を解

放。イスラエルも刑務所に拘束する数千人のパレスチナ人のうち計240人を釈放していた。

ハマスが拘束する人賣りは、なお140人程度いるとみられ、女性や子供を対象にした当初の枠組みを男性や兵士に広げ、戦闘休止期間を延長でき

るかが焦点になっている。カタール外務省によると、交渉は戦闘再開後も続いているという。

国連人道問題調整事務所によると、ガザ地区では人口の8割が避難生活を送っている。(エルサレムII西野英史郎)